

平成 20 年 2 月 12 日

各 位



株式会社エリアクエスト

(コード番号：8912 東証マザーズ)

東京都新宿区新宿5-17-5

ラウンドクロス新宿5丁目ビル4F

代表取締役社長 清原 雅人

お問い合わせ先

常務取締役管理部長 伊藤 真奈美

TEL：03-5155-8801

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 8 月 9 日付において発表いたしました、平成 20 年 6 月期中間及び通期の業績予想及び 1 株当たり配当予想につきまして、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 20 年 6 月期中間期の業績予想数値の修正（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 単 独

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	270	13	12	6
今回予想 (B)	270	1	4	235
増減額 (B - A)	-	12	8	241
増減率	-	92.3%	66.6%	-
(ご参考)				
前期 (平成 19 年 6 月期中間) 実績	462	105	104	66
対前年増減率	41.5%	99.0%	96.1%	-

(2) 連 結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	750	5	6	6
今回予想 (B)	537	134	132	220
増減額 (B - A)	213	129	126	214
増減率	28.4%	-	-	-
(ご参考)				
前期 (平成 19 年 6 月期中間) 実績	727	117	118	137
対前年増減率	26.1%	-	-	-

2. 平成 20 年 6 月期通期の業績予想数値の修正（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(1) 単 独

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	540	27	25	12
今回予想 (B)	409	133	135	376
増減額 (B - A)	131	160	160	388
増減率	24.2%	-	-	-
(ご参考)				
前期 (平成 19 年 6 月期) 実績	749	118	117	44
対前年増減率	45.3%	-	-	-

(2) 連 結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,600	54	51	25
今回予想 (B)	1,076	288	290	378
増減額 (B - A)	524	342	341	403
増減率	32.7%	-	-	-
(ご参考)				
前期 (平成 19 年 6 月期) 実績	1,530	95	94	118
対前年増減率	29.6%	-	-	-

3. 配当予想の修正

（単位：円）

	1 株当たり配当金		
	中間期	期末	年間
前回予想 (A)	-	250	250
今回予想 (B)	-	-	-
増減額 (B - A)	-	250	250
(ご参考) 前年実績	-	250	250

4. 修正の理由

(1) 単 独

特別損失として関係会社株式評価損失 222 百万円を計上いたします。

結果、中間期の業績は、売上高 270 百万円（前回発表予想同額）、経常利益 4 百万円（前回発表予想 66.6%減）、当期純損失 235 百万円（前回発表予想、当期純利益 6 百万円）となる見込みであります。

また、当社は持株会社として、連結子会社 3 社に対して経営コンサルティング及び管理業務代行を行っており、各社との間で締結している経営コンサルティング契約、管理業務受託契約、採用業務受託契約及びシステム管理業務契約に基づき、コンサルティングフィー及び業務受託料を得ておりますが、下期より売上高が減少する予定であり、通期の業績は、売上高 409 百万円（前回発表予想比 24.2%減）、経常損失 135 百万円（前回発表予想、経常利益 25 百万円）、当期純損失 376 百万円（前回発表予想、当期純利益 12 百万円）となる見込みであります。

(2) 連 結

不動産ソリューション事業におきましては、プロパティマネジメント事業のリーシングマネジメント業務売上が想定以上の減少となりました。店舗事業においては、建築基準法の改正等の影響により、用途変更手続の長期化かつ複雑化により、店舗出店の動きが鈍くなっております。

結果、中間期の業績は、売上高が537百万円（前回発表予想比28.4%減）、経常損失132百万円（前回発表、経常損失6百万円）、当期純損失220百万円（前回発表、当期純損失6百万円）となる見込みであります。

また、下期も依然厳しい状況が続く一方で、組織改革に積極的に取り組みつつ現状の環境に対応できる体制を築いて参ります。結果、通期の業績は、売上高1,076百万円（前回発表予想比32.7%減）、経常損失290百万円（前期発表予想、経常利益51百万円）、当期純損失378百万円（前期発表予想、当期純利益25百万円）となる見込みであります。

(3) 配 当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題と認識し、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結の業績動向を踏まえて、安定的な配当を継続することを重視してきましたが、当期の業績を鑑み、誠に遺憾ながら平成 20 年 6 月期の期末配当金は無配とさせていただく予定であります。

以 上